

各関係機関・団体の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成21年度発生予察技術情報第9号（果樹カメムシ類）について（送付）

このことについて、下記のとおり取りまとめましたので送付します。

平成21年度技術情報第9号

7月下旬のヒノキ球果での寄生状況調査でツヤアオカメムシ、チャバネアオカメムシが多く確認された。本年のヒノキ球果量は全体的に少ない傾向にあり、今後、新成虫の増加に伴い餌不足となり、ヒノキから早期に離脱して果樹園へ飛来し、加害する恐れがあるので、発生状況に注意が必要である。

1 対象作物 カンキツ、ナシ、カキ等

2 情報の根拠

- (1) ヒノキ球果寄生状況調査では、全ての調査地点でカメムシ類の成・幼虫が確認され、ツヤアオカメムシが2.5頭/地点（うち、幼虫1.5頭）、チャバネアオカメムシが13.1頭/地点（うち、幼虫6.9頭）と、前年よりは少ないものの寄生密度は高い（表1）。
- (2) ヒノキ球果では老齢幼虫が全地点で確認され、新成虫がすでに発生している可能性が高い（図1）。
- (3) 本年のヒノキ球果結実量は少程度で前年よりも少ないが、越冬成虫が多かったことから寄生虫数も比較的多い（表1）。
- (4) カメムシ類は、口針鞘数（吸汁痕数）が約25本/果を越えるとヒノキの樹上から離脱する。7月下旬の平均口針鞘数は2.7本/果（前年4.6）で、7月上旬の0.2本/果（前年0.1）よりも増加している（表1）。
- (5) これまでのところ、県内5か所の予察灯での誘殺数は少なく推移しているが、今後、新成虫の増加に伴い、ヒノキから早期に離脱し、局地的に果樹園へ飛来する可能性がある（図2）。

3 防除上注意すべき事項

- (1) カメムシ類の飛来は地域間差、ほ場間差があるので、園内の発生状況の把握に努め、発生に応じて防除を行う。
- (2) 山林（ヒノキ、スギ）に近い果樹園ほど飛来が多くなる傾向があり、特に、防風樹としてヒノキを植栽している園地では注意する。
- (3) 飛来を認めた場合、一回目の防除は残効の長い合成ピレスロイド系薬剤またはネオニコチノイド系薬剤を選択する。合成ピレスロイド系薬剤は、ハダニ類の発生を助長するので散布後の発生に注意する。
- (4) 黄色蛍光灯（波長500～600nm）を集団点灯するとチャバネアオカメムシへの飛来防止効果が高い。
- (5) 果実への袋かけや防虫網（網目：4mm）の被覆は、被害を軽減できる。ただし、袋かけは、果実が肥大すると、被害を受けやすくなるので注意する。

<参考資料>

表1 ヒノキ球果でのカメムシ類寄生数及び口針鞘数（7月下旬調査）¹⁾

調査場所	平成21年			平成20年		
	ツヤアオ ²⁾ カメムシ	チャバネアオ ²⁾ カメムシ	平均 ³⁾ 口針鞘数	ツヤアオ ²⁾ カメムシ	チャバネアオ ²⁾ カメムシ	平均 ³⁾ 口針鞘数
いちき串木野市1	4(4) ⁴⁾	21(9) ⁴⁾	1.2	15(7) ⁴⁾	25(13) ⁴⁾	6.9
いちき串木野市2	1(0)	18(8)	4.9	11(4)	28(14)	9.1
薩摩川内市東郷町	1(0)	9(7)	0.8	3(0)	4(0)	2.1
さつま町	1(0)	22(15)	3.1	0(0)	8(5)	0.6
阿久根市	3(2)	16(8)	4.6	12(4)	20(8)	0.9
出水市高尾野町	0(0)	10(6)	1.1	18(4)	12(6)	3.3
出水市1	2(1)	8(5)	10.4	7(4)	8(7)	4.8
出水市2	0(0)	13(4)	0.4	0(0)	18(10)	1.4
霧島市溝辺町1	4(2)	7(5)	0.35	-	-	-
霧島市溝辺町2	9(4)	8(5)	1.5	-	-	-
垂水市1	5(4)	17(6)	3.7	2(2)	16(14)	9.6
垂水市2	-	-	-	2(2)	17(16)	7.5
南さつま市加世田	0(0)	8(5)	0.3	10(2)	12(5)	4.7
日置市吹上町	-	-	-	10(4)	19(13)	5.0
平均	2.5(1.5)	13.1(6.9)	2.7	7.4(2.8)	15.6(9.3)	4.6

- 注) 1. 調査は、平成21年7月22日～23日、平成20年7月25～30日にかけて実施した。
 2. 調査方法は、2ヶ年とも1地点で5ヶ所を選定し、防虫網によりそれぞれ10回振りい落とした。
 3. ヒノキ球果1果当たりの口針鞘数（ヒノキ球果20果/地点を調査した平均値）
 4. 数字は、成虫・幼虫の合計値で、（ ）内は幼虫数である。

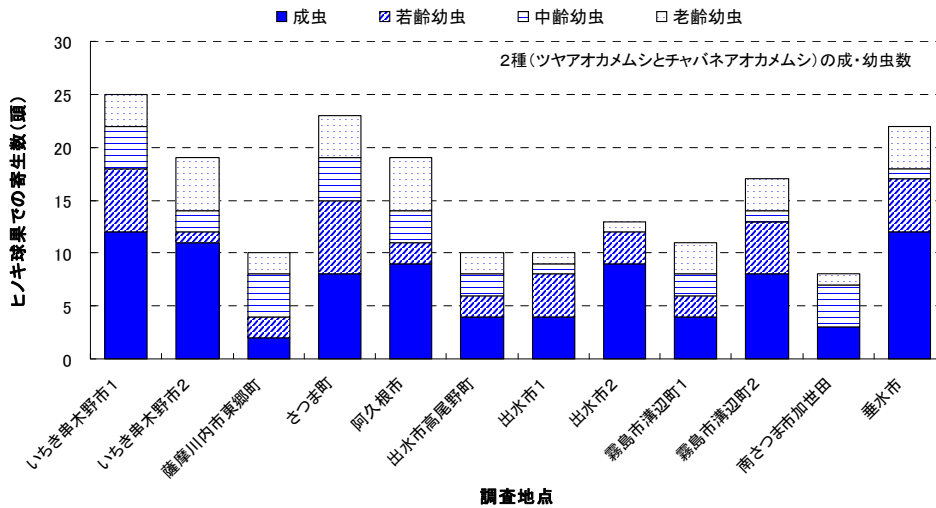


図1 ヒノキ球果でのカメムシ類（2種計）の寄生状況（平成21年7月下旬調査）

注) 成・幼虫数：1地点で5ヶ所を設定し、防虫網によりそれぞれ10回落とした合計値

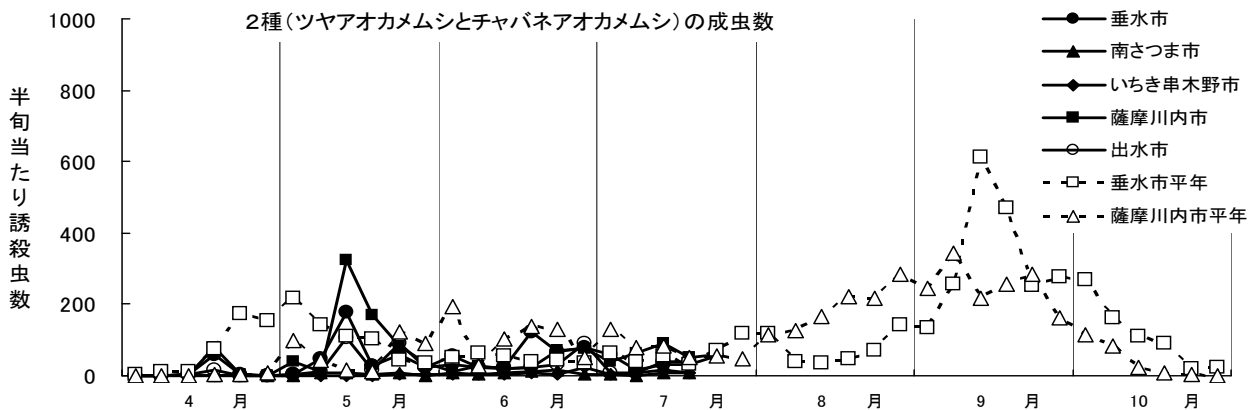


図2 予察灯におけるカメムシ類（2種計）の誘殺状況（平成21年）